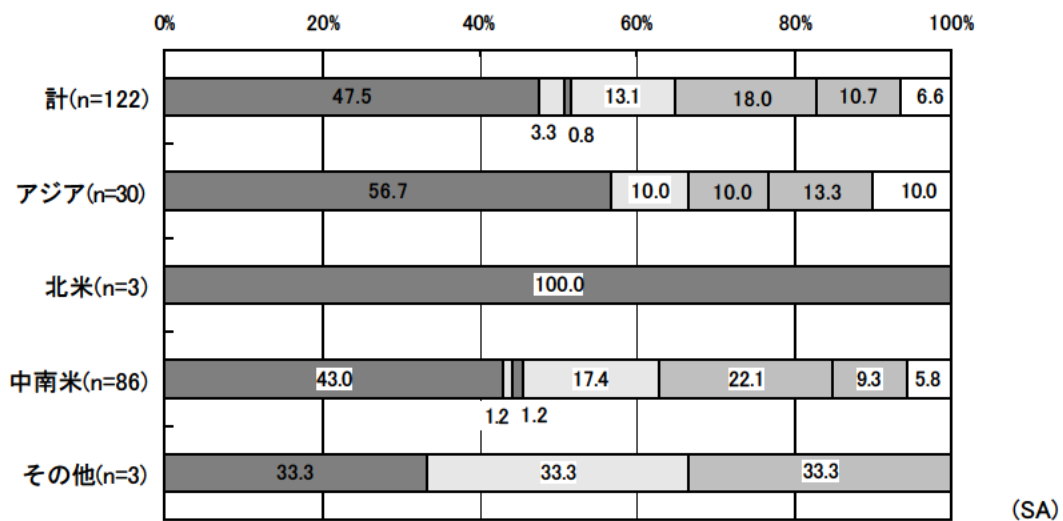


2-9 教育、子育て

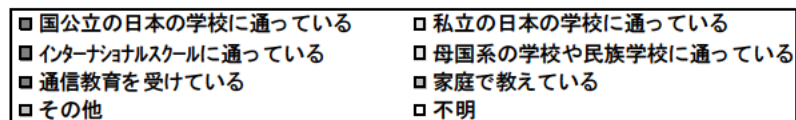
(1) 子供が教育を受けている機関

子供を日本に連れてきている方について、子供が教育を受けている機関をみると、「国公立の日本の学校に通っている」という回答者が約半数を占め、最も多くなっている。

中南米出身者では「国公立の日本の学校に通っている」(43.0%)割合は他地域の出身者に比べて少なく、「家庭で教えている」(22.1%)、「母国系の学校や民族学校に通っている」(17.4%)という割合が多い。

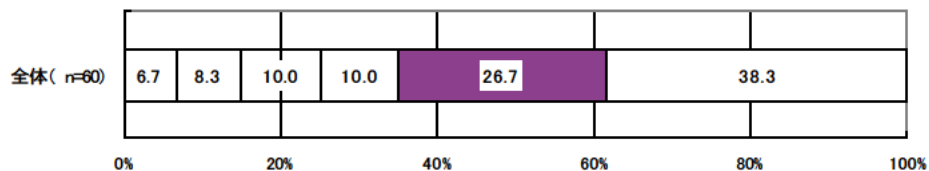


\* 日本に子供を連れてきている方のみ集計



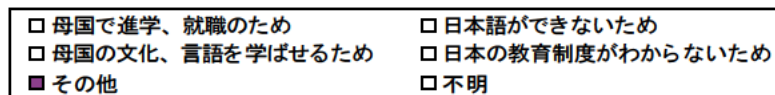
(2) 日本の学校に行かせない理由

日本の学校に行かせない理由としては、「母国の文化、言語を学ばせるため」(10%)、「日本の教育制度がわからないため」(10%)など、様々な理由があげられている。



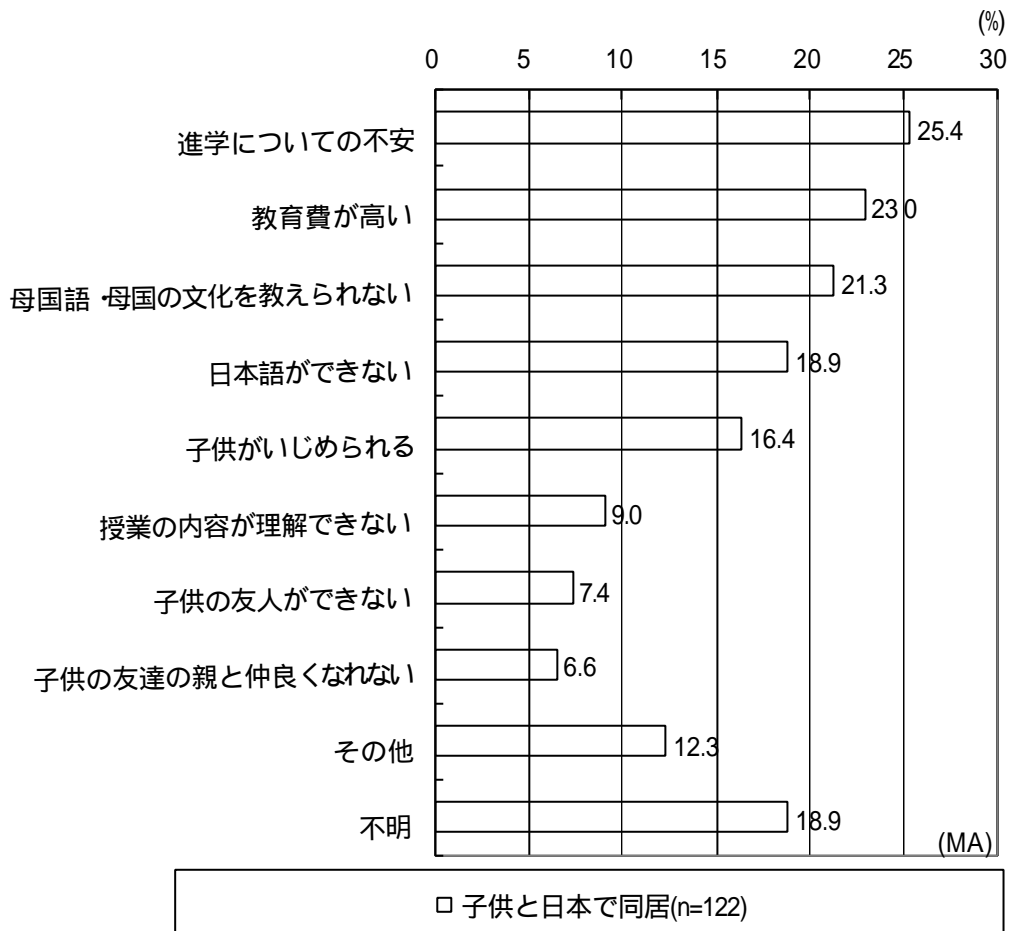
\* 日本の学校に行かせていない方のみ集計

(SA)



## (3) 教育上の悩み

子供の教育についての悩みについて、日本に子供を連れてきている方の回答をみると、「進学についての不安」(25.4%)、「教育費が高い」(23.0%)、「母国語・母国の文化を教えられない」(21.3%)、「日本語ができない」(18.9%)という悩みの他、「子供がいじめられる」(16.4%)、「子供の友人ができない」(7.4%)という悩みもみられる。



## 質問

おさんの教育でどんな悩みがありますか。(複数回答)

(4) 日本の教育制度に対する意見

日本の教育制度に対する意見としては、厳しすぎる教育、語学教育、言葉・文化への配慮、いじめ、しつけ、制服、先生、差別などに関する意見がだされている。

【意見の例】

< 厳しすぎる教育 > (9件)

- ・日本の生徒は読み書きの能力はあるが、教育制度がきびしので卒業すると社会には向かない。楽しみのための機会もルールが多いのであまりない。
- ・子供達が学校にいる時間が長い。

< 語学教育 > (7件)

- ・日本の学校の英語教育は質が悪い。
- ・何カ国語かの選択科目が必要。

< 言葉・文化への配慮 > (5件)

- ・外国人の幼児がいる学校は、子供達の母国語の授業があってもよいのではないか。

< いじめ > (5件)

- ・いじめられる。友達がいない。

< しつけ > (4件)

- ・生徒達に将来悪いことをしないようにもっと厳しくしつけることが必要と思う。

< 制服 > (3件)

- ・冬の間、女生徒にスカートをはかせるのをやめてほしい。

< 先生 > (2件)

- ・先生があまり関心を示さない。

< 差別 > (2件)

- ・人種差別とは教育の問題である。差別はやめましょう。

< その他 > (7件)

- ・事故を起こさないために、生徒達に自転車走行時の交通ルールを教えてほしい。
- ・市民の負担を減らすために伝統の教育制度を改革するべき。例えば高校入試は私立の入学金を無駄にして公立に行ったり、なぜ公立を私立の前に試験させないのか。

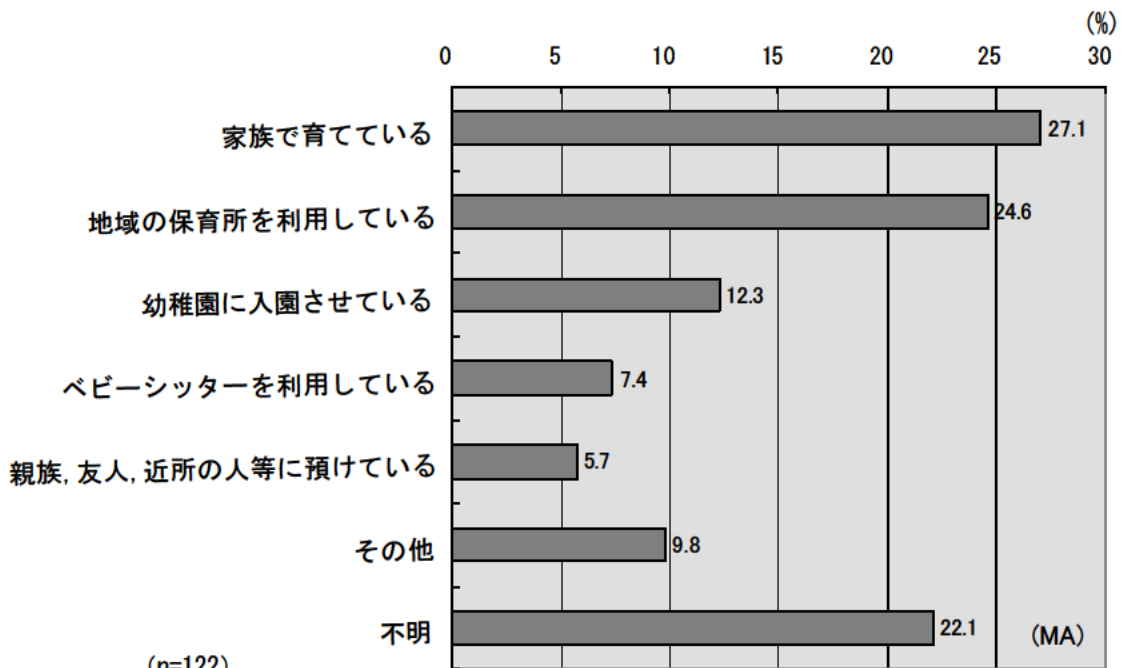
< よい > (2件)

- ・とてもよい。

(5) 子育ての方法

①方法

日本に子供を連れてきている方の子育て方法をみると、「家族で育てている」(27.1%)、「地域の保育所を利用している」(24.6%)という回答が多い。



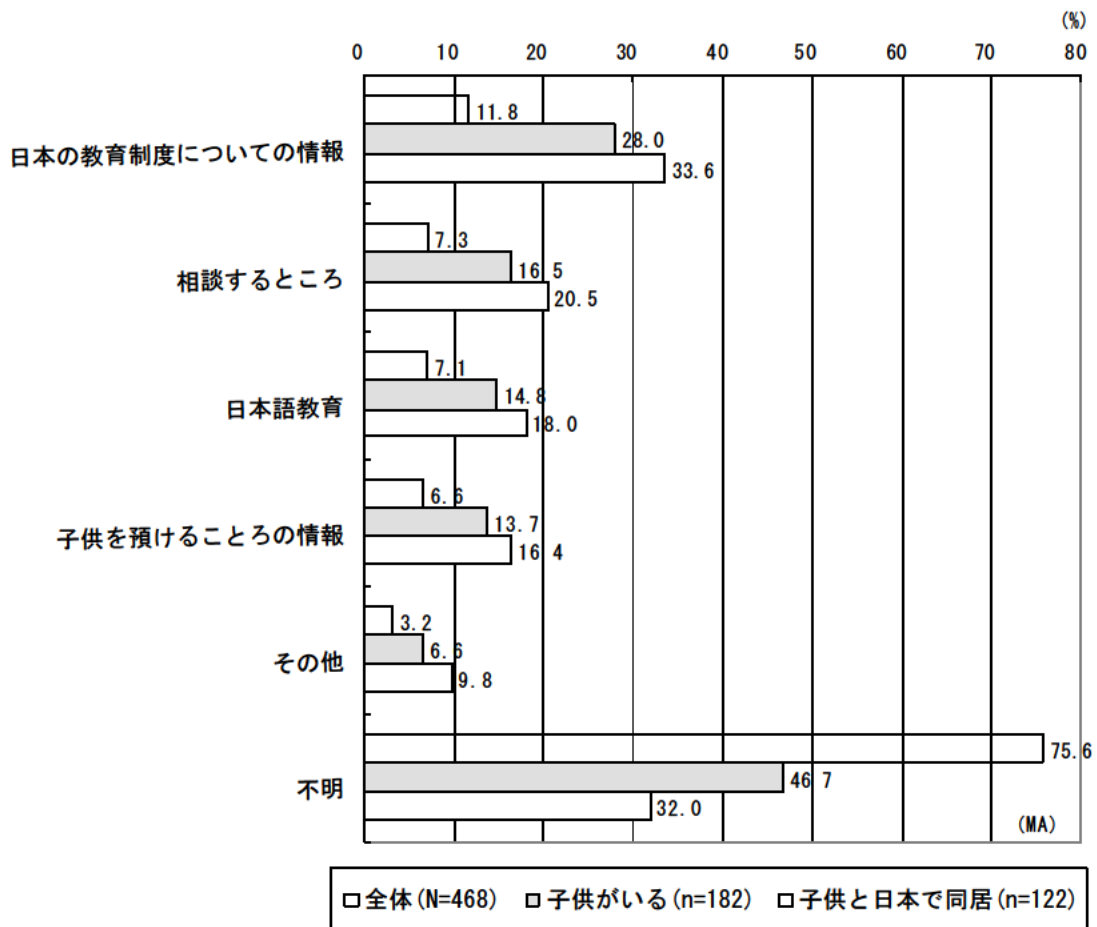
②理由

「家族で育てている」理由としては、「乳幼児だから」など、保育園等に行く必要がないという理由が多いが、「保育園や学校に通わせることが不安だから」という理由もみられる。また、「地域の保育所を利用している」理由としては、「両親とも働いているから」という理由が多い。

(6) サポートに対する期待

子供と日本で同居している方が望むサポートとしては、「日本の教育制度についての情報」を望む回答者が 33.6%と最も多く、次いで「相談するところ」(20.5%) という回答が多い。

また、「日本語教育」については、子供と日本で同居している方の 18.0%が望んでいる。



○質問

教育や子育てでどのようなサポートを望みますか。(複数回答)